

『見た目だけで訳あり！？』

スーパーの野菜売り場で、「訳ありゴボウ」と書かれた商品を目にしました。他に並んでいたゴボウに比べて明らかに安く、多く残っていました。「訳あり」商品は、その言葉からは悪いイメージしか湧かず、今まで買ったことはありませんでした。お金を使うなら良いものの方を買いたいという気持ちもありました。

しかし、その訳ありゴボウは、他のものと比べても大きな違いはなく、ただ少し曲がっているだけでした。理由がそれだけで価格も安いのなら、と買ってみました。味、品質ともに全く問題はなく、おいしく食べられました。

見た目だけで「訳あり」とされ、価格を下げられる食べ物たち。人間社会で多様性が重視されている今、野菜の世界にも多様性の時代が訪れはしないのでしょうか。

3年生 M・Y （2025. 11. 21 東京新聞）